

働く仲間の笑顔のために



田村まみ通信

mamitamura.com

6月号

国民の将来に責任を持てる年金制度へ

コ ロナ禍で国民に将来への不安が広がる中で、今国会に「年金制度の機能強化のための国民年金等法の一部を改正する法案」が提出されています。

安倍首相も出席した5月26日の厚生労働委員会で国民の将来への安心につながる年金制度について質問に立ちました。

今回の改正案では2024年10月から従業員51人以上の事業主へ適用拡大が含まれています。そこでの課題はやはり社会保険料負担と人数規模での負担や格差の発生です。

安倍首相には人生100年時代に確実に機能する年金制度を維持するためにも、矛盾が拡大する改革ではなく原則に基づいた検討が必要であると訴えました。



働く仲間の声が活動の原点。

新 型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中のゴールデンウィークでも、ライフラインを守るために感染のリスクと向き合いながら介護や流通・小売りの現場の真っ只中で働いていた仲間の声が、ゴールデンウィークが明けると同時に続々と届きました。

どれも耳を疑うような理不尽な事ばかりで、心ない仕打ちを受けた方はさぞかし深く心を痛めたのではないかと私も悲しい思いに至りました。

寄せられた種々の声を5月12日の厚生労働委員会で取り上げる為に関係者とのヒアリングを重ねました。

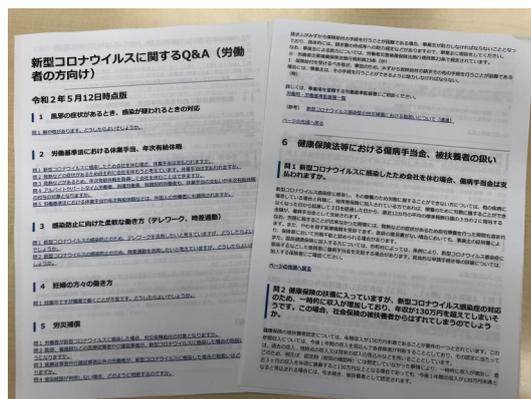


委員会での指摘が厚生労働省のQ & Aに

緊

急事態宣言発令の中においても、国の要請により営業をしているスーパーやドラッグストア等のライフラインで働いているパートタイマーの方々より、ステイホームにより平時と比べて来店客が増えた事で大幅に労働時間や残業が増加し、一時的にしても収入が上がり「社会保険の被扶養認定基準を取り消されてしまうのでは」との不安の声を頂いていました。

この件に対して5月12日の厚生労働委員会で取り上げたところ、早速、厚生労働省のQ & Aに事例として取り入れられました。



ハラスメント・不当な差別や偏見は許さない!

コ

ールデンウィーク明け直後の厚生労働委員会において、これまでに寄せられた種々の声を基に不当な差別や偏見、あらゆる業種業態で働く方々へのハラスメントの撲滅に対して具体的な事例を挙げて政府の見解や取組について質問をいたしました。

寄せられた働く仲間の多くの声を政府の答弁も含めて40分の持ち時間では、全てを語り尽くすことは不可能ですので、継続的に問題提起を行ってハラスメント撲滅へ繋げて参ります。

併せてハラスメントを禁じるILO条約の批准にむけて国際基準を基に厚生労働委員会においても積極的に議員間討議や審議を行い前進させるべきと多角的視点に立って提案を行いました。



国などによる

新型コロナ関連の支援制度

どんな支援があるの？

ワンストップ検索ページ

<https://www.dpfp.or.jp/covid19/support>

